

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00292 環境意識啓発事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する			
施策	001	環境意識の向上を図る			
施策達成課題	001	環境意識の向上を図る			
基本事務事業	002	環境意識啓発事業			
詳細事務事業	001	環境意識啓発事業			

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市総合振興計画、熊谷市環境基本計画
課題・分析	環境学習に関して、小学生に向けた環境教育素材の提供を検討する。 エコライフフェアに関して、今後コミュニティ広場が使えなくなることも見据え、情報発信の方法や展示方法等運営のあり方について検討する必要がある。

【事業分析】	
対象	小・中・高校生、団体・企業
目的	環境講座等を実施するとともに、子ども達の環境学習活動及び地域や環境団体による環境保全活動を支援することにより、環境問題への理解と環境意識の向上を図る。
手段	市・企業・団体等で組織するエコライフフェア実行委員会に対する支援を行う。また、環境教育講座、環境施設見学会、自然観察会等を実施するとともに、こどもエコクラブ活動の支援等を行う。さらにくまがや環境賞表彰を行う。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	6,419	4,060	971	1,082	0	0	0	
事業費	3,081	771	971	1,082	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	3,081	771	971	1,082	0	0	0	
人件費計	3,338	3,289	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.44	0.43	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-04-01-00-00	環境意識啓発事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00292 環境意識啓発事業

【定量評価】									上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
環境講座等の実施回数	回	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		17.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
環境講座等の受講者数	人	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		264.00	226.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
キッズISOプログラム配布数	冊	1,700.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,591.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
回収率	%	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		88.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
	理由		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
	理由		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		3
	理由		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
	理由		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		3
	理由		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	令和7年度は【熊谷市誕生20周年記念】として実施する。 エコライフフェアは環境問題の啓発ができる貴重な場であると考えているが、入場者数の減少や、今後使用できなくなるコミュニティ広場会場等、運営方法の検討が必要である。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00293 美しい街づくり推進事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する			
施策	001	環境意識の向上を図る			
施策達成課題	001	環境意識の向上を図る			
基本事務事業	003	美しい街づくり推進事業			
詳細事務事業	001	美しい街づくり推進事業			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市路上等の喫煙及び吸殻の散乱の防止に関する条例				
課題・分析	平成18年10月1日の「熊谷市路上等の喫煙及び吸い殻の防止に関する条例」の施行後、路上喫煙禁止区域内において路上喫煙者及び吸い殻のポイ捨て件数は、大きく減少している。しかしながら、指定喫煙所は完全分煙が出来ておらず、指定喫煙所の可否に課題が残る。				

【事業分析】	
対象	市民
目的	道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、安全で、快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保することを目的とする。
手段	条例施行にあわせ熊谷駅及び藤原駅の周辺を路上喫煙禁止区域に指定、路面シールによる表示とともに指定喫煙場所を設置。課員による喫煙マナー指導パトロールを実施。指定喫煙所の清掃等維持管理は、シルバー人材センターへ委託。喫煙マナー啓発を推進するため、イベント主催者等に啓発用物品を貸与。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	5,315	5,133	2,671	2,671	0	0	0	
事業費	2,280	2,380	2,671	2,671	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	2,280	2,380	2,671	2,671	0	0	0	
人件費計	3,035	2,753	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.40	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-12-01-00-00	美しい街づくり推進事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00293 美しい街づくり推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
路上喫煙禁止区域内の喫煙者数減少率	%	95.00 97.40	95.00 0.00	95.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
路上喫煙禁止区域内のポイ捨て吸殻本数減少率	%	80.00 77.70	80.00 0.00	80.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 01159 みどりを育む市民ふれあい事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	001 豊かな自然を保全する
施策	001 環境意識の向上を図る
施策達成課題	001 環境意識の向上を図る
基本事務事業	004 みどりを育む市民ふれあい事業
詳細事務事業	001 みどりを育む市民ふれあい事業

事業期間	平成24年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	都市緑地法
課題・分析	令和2年度策定「熊谷市緑の基本計画」の基本方針にある「緑あふれるまちづくりの仕組みをつくる」に基づき、市民の自発的な緑の関わりを促進し、それなりの成果はできているが、各種行事等への参加者に偏りがある。

【事業分析】	
対象	市民
目的	緑化意識の高揚を図る。
手段	市民の緑化活動へのきっかけとなる事業や普及啓発活動の推進に寄与できる取組みを行う。
その他	別府沼公園において自然観察会を開催するほか、小学生による樹名板の設置やみどりの集会等の開催、人生記念樹等の配布を行う。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		4,192	4,212	1,840	2,282	0	0	0
事業費		398	388	1,840	2,282	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		30	45	209	0	0	0	0
一般財源		368	343	1,631	2,282	0	0	0
人件費計		3,794	3,824	0	0	0	0	0
一般職員(人)		0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-36-01-00-00	みどりを育む市民ふれあい事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 01159 みどりを育む市民ふれあい事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
自然観察会等開催数	回	2.00 2.00	2.00 4.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	
自然観察会等参加者数	人	200.00 32.00	200.00 56.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	
人生記念樹配布回数	回	3.00 3.00	3.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	
人生記念樹等配布数	本	100.00 106.00	100.00 76.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
	理由				
	理由				

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00925 ムサントミヨ保護事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	001 豊かな自然を保全する
施策	002 緑と水辺環境を保全する
施策達成課題	001 緑と水辺環境を保全する
基本事務事業	004 ムサントミヨ保護事業
詳細事務事業	001 ムサントミヨ保護事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	課題 ムサントミヨの生息数が減少していること。 分析 ムサントミヨが巣をつくる水草の減少が、生息数の減少に繋がっていると思われる。

【事業分析】	
対象	ムサントミヨ（世界で熊谷市だけに生息している希少魚）
目的	ムサントミヨの保護・増殖及び普及・啓発を図る。
手段	生息域を学区に持つ市内3つの小中学校（久下小、佐谷田小、熊谷東中）を対象に、ムサントミヨの保護・増殖のための業務委託を行う。ムサントミヨが生息する河川の水質検査や文化財指定区域の草刈り等を行い、生息環境の整備を行う。熊谷市ムサントミヨ保護センターの維持・管理を行う。その他、ムサントミヨに関する普及・啓発を行う。
その他	環境変化に応じて、生息域の保全対策を随時検討していく必要がある。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		9,675	13,514	4,846	4,938	0	0	0
事業費		3,984	7,701	4,846	4,938	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		1,014	778	1,085	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,970	6,923	3,761	4,938	0	0	0
人件費計		5,691	5,813	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.75	0.76	0.76	0.76	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-35-01-00-00	ムサントミヨ保護事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00925 ムサントミヨ保護事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
増殖委託先小中学校の数	校	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
増殖委託事業による確認個体数	尾	650.00	650.00	650.00	650.00	0.00	0.00	0.00
		579.00	532.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
保護センター見学団体	団体	20.00	20.00	20.00	20.00	0.00	0.00	0.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
保護センター見学者	人	320.00	320.00	320.00	320.00	0.00	0.00	0.00
		64.00	129.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	
	4		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある			
	3		どちらかといえば、実施したほうがよい			
	2		目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり			
	1		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5	
	4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである			
	3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである			
	2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである			
	1		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4	
	4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ			
	3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している			
	2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る			
	1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	1	
	4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体			
	3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である			
	2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である			
	1		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	2	
	4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して			
	3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している			
	2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している			
	1		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
	埼玉県天然記念物区間にかかる除草や強剪定等については、業者に委託する。		
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01771 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	001 豊かな自然を保全する
施策	002 緑と水辺環境を保全する
施策達成課題	001 緑と水辺環境を保全する
基本事務事業	011 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業
詳細事務事業	001 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	熊谷市環境基本計画
課題・分析	クビアカツヤカミキリの被害が市内でも確認されており、被害木の伐採等による蔓延防止が急務となっている。しかし、個人所有の被害木に対しては所有者の対策に頼っており思うように防除が進まないのが現状である。そのため、被害木の所有者に対する補助制度を創設し、被害木の伐採や薬剤による防除を推し進め、被害拡大防止を図る。

【事業分析】	
対象	市内に樹木を有する者
目的	クビアカツヤカミキリの被害木の伐採、薬剤防除費用を補助する。また、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除することで、被害拡大を防止する。
手段	クビアカツヤカミキリの被害木の伐採、薬剤防除費用を補助する。また、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除したものに奨励品「クマPAY」を交付する。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		3,913	5,492	3,900	3,900	0	0	0
事業費		2,320	3,886	3,900	3,900	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		168	1,726	1,700	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,152	2,160	2,200	3,900	0	0	0
人件費計		1,593	1,606	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.21	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-60-01-00-00	クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01771 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金交付件数		50.00	50.00	90.00	100.00	0.00	0.00	0.00
		65.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1 次コメント （4 0 0 文字）	被害拡大防止のため、伐採・薬剤の補助金について、毎年流用して対応している。また、奨励金については、申請件数からも広く周知できたが、物理的駆除の効果が薄いことから、奨励金については廃止する。	

【2 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント （4 0 0 文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00304 大気等検査事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	002	生活環境を保全する			
施策	001	公害のないまちをつくる			
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる			
基本事務事業	002	大気等検査事業			
詳細事務事業	001	大気等検査事業			
事業期間	平成30年度 ～ 令和 4年度	5 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	環境基本法・大気汚染防止法・水質汚濁防止法・騒音規制法・悪臭防止法・埼玉県生活環境保全条例				
課題・分析	環境大気調査では、全地域において環境基準を達成した。河川水質調査では、環境基準を上回る項目（大腸菌数など）がある為、継続監視を行う。				

【事業分析】	
対象	公害関係法令に規定する工場及び事業場
目的	大気及び水質等の環境保全
手段	工場・事業場を定期的に監視し、大気・水質等に係る規制及び指導等を行う。 環境大気・水質等に係る汚染状況を把握するため、事業ごとに環境計量証明事業者と委託契約を結び、計測分析を行う。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	51,906	51,679	21,335	25,703	0	0	0	
事業費	20,796	20,625	21,335	25,703	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	20,796	20,625	21,335	25,703	0	0	0	
人件費計	31,110	31,054	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	4.10	4.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-05-03-01-00-00	大気等検査事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00304 大気等検査事業

【定量評価】									上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
大気関係事業場への立入検査	件数	55.00 67.00	55.00 50.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	
排出基準の達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	
水質関係工場等への立入検査	件数	120.00 104.00	120.00 109.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	
排水基準の達成率	%	100.00 87.00	100.00 90.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
	4		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある			
	3		どちらかといえば、実施したほうがよい			
	2		目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり			
	1		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		5
	4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである			
	3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである			
	2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである			
	1		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
	4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ			
	3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している			
	2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る			
	1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
	4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体			
	3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である			
	2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である			
	1		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		4
	4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して			
	3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している			
	2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している			
	1		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			
理由						

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	予算拡大の理由 工場・事業場排水測定項目の変更（大腸菌群数→大腸菌数） 地下水質監視調査の追加（PFAS） 物価高騰による各種調査委託業務における人件費・事務費増加	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00306 畜犬登録等実施事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	002	生活環境を保全する			
施策	001	公害のないまちをつくる			
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる			
基本事務事業	004	畜犬登録等実施事業			
詳細事務事業	001	畜犬登録等実施事業			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市狂犬病予防法施行細則、狂犬病予防法、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例				
課題・分析	課題				
	年々、狂犬病予防注射の接種率が低下しているため、注射頭数を増加させ、公衆衛生を向上させる必要がある。				
	分析 注射率低下の原因は、飼い主の狂犬病予防への意識が育成できていないものとするため、広報誌、Web媒体、研修会等により、飼い主への周知・啓発を促進していく。				

【事業分析】	
対象	飼い犬（飼い主）
目的	犬の登録及び狂犬病予防注射の１００％実施
手段	犬の登録（鑑札の交付）、注射済票の交付、狂犬病予防集合注射の実施
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	5,478	5,640	737	1,006	0	0	0	0
事業費	521	594	737	1,006	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	521	594	737	1,006	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,957	5,046	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-05-01-00-00	畜犬登録等実施事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00306 畜犬登録等実施事業

【定量評価】									上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
注射済大頭数	頭	9,100.00 6,824.00	9,100.00 6,637.00	9,100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
注射率	%	75.00 68.28	75.00 66.15	75.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		

【定性評価】				カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	理由	1	事業の優先度		5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
						4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
						3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
						2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
						1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	理由	2	事業の必要性		5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
						4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
						3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
						2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
						1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	理由	3	事業主体の妥当性		5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
						4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
						3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
						2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
						1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	理由	4	事業の対象者		5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
						4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
						3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
						2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
						1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	理由	5	市民ニーズの把握		5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
						4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
						3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
						2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
						1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （４００文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4025000 都市整備部建築審査課
短縮番号 01401 民間建築物アスベスト対策補助事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002	生活環境を保全する				
施策	001	公害のないまちをつくる				
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる				
基本事務事業	005	民間建築物アスベスト対策補助事業				
詳細事務事業	001	民間建築物アスベスト対策補助事業				
事業期間	平成31年度 ～					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	熊谷市民間建築物吹付けアスベスト等含有調査事業補助金交付要綱					
課題・分析						

【事業分析】

対象	用途や構造を問わず、全ての民間建築物
目的	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の状況を所有者に認知して頂き、除却等を促進する。
手段	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の含有調査に要した費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	347	153	500	500	0	0	0
事業費	196	0	500	500	0	0	0
国庫支出金	196	0	500	500	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	151	153	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-39-01-00-00	民間建築物アスベスト対策補助事業	都市整備部建築審査課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4025000 都市整備部建築審査課
短縮番号 01401 民間建築物アスベスト対策補助事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
補助件数	件	4.00 1.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価 1	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
事中評価 2	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
事中評価 3	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
事中評価 4	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
事中評価 5	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	4
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （ 4 0 0 文字）			

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （ 4 0 0 文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00312 汚水対策事業

【基本情報】			
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	002	生活環境を保全する	
施策	002	生活排水を適切に処理する	
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する	
基本事務事業	004	汚水対策事業	
詳細事務事業	001	汚水対策事業	

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	浄化槽設置整備事業実施要綱、埼玉県浄化槽整備事業補助金交付要綱 合併処理浄化槽整備率は増加傾向にある。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	下水道事業計画区域外世帯、農業集落排水事業計画区域外世帯（合併処理浄化槽整備設置補助対象区域）
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため
手段	単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換を促進するため、補助を行う。
その他	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、住みよい生活環境をつくる。

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	27,387	29,598	23,444	26,862	0	0	0	0
事業費	20,862	23,020	23,444	26,862	0	0	0	0
国庫支出金	10,081	11,119	11,062	12,581	0	0	0	0
県支出金	6,800	7,800	8,200	9,500	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,981	4,101	4,182	4,781	0	0	0	0
人件費計	6,525	6,578	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-04-01-00-00	汚水対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00312 汚水対策事業

【定量評価】										上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度			
合併処理浄化槽設置整備補助基数	基	35.00	36.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		35.00	39.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
合併処理浄化槽の整備率	%	54.00	54.30	54.60	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		54.00	54.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00

【定性評価】				カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	理由	1	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
						今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
						どちらかといえば、実施したほうがよい	
						目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
						事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	理由	2	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
						安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
						安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
						豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
						市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	理由	3	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
						他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
						他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
						本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
						本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	理由	4	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
						直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
						直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
						直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
						直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	理由	5	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	2
						事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
						事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
						事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
						事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	令和5年度実績は39基であった。市民負担が少なからず発生するため、大幅に転換が進むことは困難であるが、地道に補助制度の普及啓発を続けることで水環境保全に寄与していきたい。 令和6年度以降は、ムサントミヨ生息区域保全集中転換促進事業を当該事業に統合し、一つの事業で市内全域の合併処理浄化槽への転換を促進することで、埼玉県生活排水処理施設整備構想の目標達成を目指す。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00314 し尿汲取事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	002 生活環境を保全する
施策	002 生活排水を適切に処理する
施策達成課題	001 生活排水を適切に処理する
基本事務事業	006 し尿汲取事業
詳細事務事業	001 し尿汲取事業

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
課題・分析	合併処理浄化槽の整備などに伴い、汲み取り世帯数は減少傾向にあるが、家庭や事業所、公衆施設や市主催行事に使用する仮設便所、または災害時雨入等による緊急汲み取りなど、将来的にし尿の排出が見込まれる。

【事業分析】	
対象	家庭や事業所のし尿汲取世帯及び公共施設
目的	し尿の衛生的処理につとめ、生活環境保全による快適な生活の維持を図る
手段	市内9業者に、し尿汲取収集・運搬業務を許可
その他	家庭等から排出されるし尿を適正に処理するため、市内9業者にし尿汲取収集・運搬業務を許可及び委託。し尿汲取業務の円滑な推進と水環境に対する市民意識の高揚を図るため、熊谷市環境衛生協議会に対し、助成を行う

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		5,526	5,326	1,893	2,044	0	0	0
事業費		1,808	1,731	1,893	2,044	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	100	0	0	0	0	0
一般財源		1,808	1,631	1,893	2,044	0	0	0
人件費計		3,718	3,595	0	0	0	0	0
一般職員(人)		0.49	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-02-01-00-00	し尿汲取事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00314 し尿汲取事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
委託分汲み取り本数	本		2,000.00	2,000.00	2,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1,406.00	1,367.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
し尿処理量	㎡		19,800.00	19,800.00	19,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			18,299.00	18,446.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00983 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	002	生活環境を保全する			
施策	002	生活排水を適切に処理する			
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する			
基本事務事業	013	合併処理浄化槽維持管理費補助事業			
詳細事務事業	001	合併処理浄化槽維持管理費補助事業			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	浄化槽法第7条第1項、第10条第1項、第11条第1項 法定検査受検率（11条）は年々増加し、創設年度（平成22年度）と比較すると、29.6ポイント上昇した。着実に成果を上げている。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者
目的	合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の適正な管理の促進を図る。
手段	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項（新設）又は第11条第1項（毎年）の検査を受検し、同法第10条第1項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に人槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。
その他	補助対象区域内の居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項又は第11条第1項の検査を受検し、同法第10条第1項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に人槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	60,324	57,789	47,000	44,016	0	0	0	
事業費	50,586	47,876	47,000	44,016	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	15,621	15,260	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	34,965	32,616	47,000	44,016	0	0	0	
人件費計	9,738	9,913	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-09-01-00-00	合併処理浄化槽維持管理費補助事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00983 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

【定量評価】									上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
浄化槽法第7条実施率（法定検査受検率）	%	90.70 92.10	91.60 100.00	92.50 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
補助件数	件	3,689.00 3,186.00	3,313.00 3,027.00	2,914.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
浄化槽法第11条実施率（法定検査受検率）	%	60.30 60.40	62.40 63.00	63.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
	4		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
	3		どちらかといえば、実施したほうがよい		
	2		目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
	1		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
	4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
	3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
	2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
	1		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
	4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
	3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
	2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
	1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
	4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
	3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
	2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
	1		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
	4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる		
	3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
	2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
	1		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由				

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
	制度開始当初の申請者の申請期間が終了したことによる減額	
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 01912 汚泥再生処理センター整備事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002	生活環境を保全する				
施策	002	生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	020	汚泥再生処理センター整備事業				
詳細事務事業	001	汚泥再生処理センター整備事業				
事業期間	令和 3年度 ～ 令和12年度	10 年間				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 令和3年度策定の「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、施設整備に必要な業務を進めていく。 令和4年度は、「汚泥再生処理センター施設整備基本計画」の策定と「生活環境影響調査業務（環境アセスメント）」を実施。 令和5年度は、用地測量調査、ボーリング・埋設物調査業務を委託した。					
課題・分析						

【事業分析】

対象	汚泥再生処理センター（第一水光園の更新施設）
目的	「汚泥再生処理センター」を整備することにより、し尿・浄化槽汚泥処理の安定を図り、併せて汚泥の助燃剤への資源化により、循環型社会形成推進を実現する。
手段	令和7～8年度は、発注書等作成等の「発注支援業務」を予定している。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	32,867	17,032	15,700	18,535	0	0	0
事業費	29,073	13,208	15,700	18,535	0	0	0
国庫支出金	9,533	2,985	5,233	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,540	10,223	10,467	18,535	0	0	0
人件費計	3,794	3,824	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-04-01-00-00	汚泥再生処理センター整備事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 01912 汚泥再生処理センター整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00324 環境美化推進員充実事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する			
施策	001	5 Rを推進する			
施策達成課題	001	5 Rを推進する			
基本事務事業	001	環境美化推進員充実事業			
詳細事務事業	001	環境美化推進員充実事業			

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市環境美化推進員設置要綱 指数は、環境美化推進員の研修参加者数であり概ね目標値を達成しているが、参加者率の向上に課題が残る。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	環境美化推進員
目的	住みよい美しい街づくりと快適な生活環境を保全することを目的とする。
手段	各自治会から推薦された方を環境美化推進員として委嘱し、地域の環境美化（ごみ分別の徹底・ごみ減量・リサイクル）推進を支援する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	6,817	6,220	2,974	3,236	0	0	0	0
事業費	2,644	3,084	2,974	3,236	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,644	3,084	2,974	3,236	0	0	0	0
人件費計	4,173	3,136	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.55	0.41	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-06-01-00-00	環境美化推進員充実事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00324 環境美化推進員充実事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
環境美化推進員研修会の開催	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
環境美化推進員研修会の参加者数	人	310.00	310.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		9.00	272.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00330 ごみ減量対策事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する			
施策	001	5 Rを推進する			
施策達成課題	001	5 Rを推進する			
基本事務事業	005	ごみ減量対策事業			
詳細事務事業	001	ごみ減量対策事業			
事業期間	平成20年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法 資源有効利用促進法 5R等のごみ削減に資する施策の浸透が薄く、ごみ減量（市民1人1日当たりのごみ排出量）等が目標値に届いていないことが課題である、今後は食品ロスや事業系一般廃棄物の削減等新たな取組を展開していく。				
課題・分析					

【事業分析】

対象	市民・NPO法人
目的	5R（リフューズ・リデュース・リユース・リベア・リサイクル）を基本とする循環型社会の構築。
手段	生ごみ処理容器等の購入費補助、生ごみ再資源化の業務委託、ごみ減量の啓発（マイバッグの使用他）等
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	11,642	4,587	4,763	5,087	0	0	0
事業費	3,827	4,587	4,763	5,087	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	57	0	0	0	0
一般財源	3,827	4,587	4,706	5,087	0	0	0
人件費計	7,815	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-05-01-00-00	ごみ減量対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00330 ごみ減量対策事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
生ごみ処理容器購入補助対象数	基	150.00 90.00	150.00 113.00	150.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
マイバックを利用している市民の割合	%	62.00 80.40	62.00 82.00	62.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
市民一人一日あたりのごみ排出量	g	1,050.00 1,070.00	1,038.00 0.00	1,028.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
資源物回収率	%	24.00 20.12	24.20 0.00	24.40 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	4
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	4
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00331 リサイクル活動推進事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する			
施策	001	5 R を推進する			
施策達成課題	001	5 R を推進する			
基本事務事業	006	リサイクル活動推進事業			
詳細事務事業	001	リサイクル活動推進事業			
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱 新型コロナウイルスの蔓延による集団活動の自粛の影響を受けて、回収量が減少していることが課題である。				
課題・分析					

【事業分析】

対象	日常生活から排出される廃棄物のうち、再利用できる資源を集団回収し、かつ市内に住所を有し営利を目的としない団体
目的	資源再利用の推進及びごみ減量化を図り、もって、生活環境の保全に資することを目的とする。
手段	廃棄物を資源として回収する団体に対し、（紙類・金属類・布類・ビン類・廃食用油、家庭系生ごみ）1（kg・ℓ）あたり3円の奨励金を交付する。（平成28年9月までは4円）
その他	

【コスト】

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	7,392	6,499	8,010	8,010	0	0	0
事業費	5,344	5,276	8,010	8,010	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,344	5,276	8,010	8,010	0	0	0
人件費計	2,048	1,223	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.27	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-06-01-00-00	リサイクル活動推進事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00331 リサイクル活動推進事業

【定量評価】

	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
実施団体数	件		200.00	200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		163.00	164.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
回収量	t		3,000.00	3,000.00	3,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,778.00	1,755.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由			
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由			
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由			
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由			
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00333 廃棄物対策事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する			
施策	001	5 Rを推進する			
施策達成課題	001	5 Rを推進する			
基本事務事業	008	廃棄物対策事業			
詳細事務事業	001	廃棄物対策事業			
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 評価指数である不法投棄の苦情処理件数増えており、不法投棄自体は後を絶たないことが課題である。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	市民
目的	住みよい住環境を保全するため不法投棄の監視と、事業への対応を行う。一般廃棄物を適正に処理するため、処理業者に対する収集運搬・処分の許可事務を行う。また、一般廃棄物を効率よく処理し、ごみ減量とリサイクルの推進により循環型社会を構築する。
手段	事業系一般廃棄物を適正に処理するため、収集運搬業者へ許可を付与し、公衆衛生や環境の保全を図る。廃棄物の不法投棄を未然防止し、快適な生活環境を維持する。県と連携し産業廃棄物の山を監視することにより、不法投棄廃棄物の増加や早期発見、未然防止を図る。一般廃棄物を円滑に処理するため、実施計画等を策定する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	15,366	13,233	8,966	31,274	0	0	0	0
事業費	873	613	8,966	31,274	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	355	0	0	0	0	0	0
一般財源	873	258	8,966	31,274	0	0	0	0
人件費計	14,493	12,620	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.91	1.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-08-01-00-00	廃棄物対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3020000 環境部環境推進課
短縮番号 00333 廃棄物対策事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
不法投棄の苦情処理件数	件	50.00 34.00	50.00 44.00	50.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
不法投棄監視パトロール数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3040000 環境部環境美化センター
短縮番号 00332 リサイクルフェア事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	003 ごみの発生を抑制し、再利用を促進する
施策	001 5 Rを推進する
施策達成課題	001 5 Rを推進する
基本事務事業	007 リサイクルフェア事業
詳細事務事業	001 リサイクルフェア事業

事業期間	平成27年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 リサイクルフェアの来場者数は、会場の広さや駐車場の問題、リサイクル品の回収量等を考慮すると数の増加に 限界がある。新型コロナウイルス感染症対策が必要ことから、ウェブ応募等による抽選販売を行った。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	市民
目的	ごみの減量化、資源消費の抑制、ごみの再利用・分別等の意識の向上を図る。
手段	ごみとして排出された利用可能なものを修繕し、安価にて展示販売する。
その他	例年は春と秋に開催（自転車、家具、衣類、古本等の展示販売）するが、令和4年度は新型コロナウイルスの感 染症の感染拡大を予防するため、春、秋ともにウェブ応募等による抽選販売により、春は自転車25点他を販売、 秋は自転車22点他を販売した。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		9,809	3,697	120	120	0	0	0
事業費		173	102	120	120	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		99	102	120	0	0	0	0
一般財源		74	0	0	120	0	0	0
人件費計		9,636	3,595	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.27	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-07-01-00-00	リサイクルフェア事業	環境部環境美化センター

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3040000 環境部環境美化センター
短縮番号 00332 リサイクルフェア事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
リサイクルフェアの開 催	回	2.00 2.00	2.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
リサイクルフェア来場 者数	人	2,500.00 117.00	2,500.00 92.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 02165 省エネ家電普及促進事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する			
施策	001	ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する			
施策達成課題	001	ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する			
基本事業	018	省エネ家電普及促進事業			
詳細事業	001	省エネ家電普及促進事業			

事業期間 令和 5年度 ～ 令和 5年度 1 年間

新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 第2次熊谷市環境基本計画

課題・分析 ①課題
省エネ性能が高い家電については、販売価格が高くなり、市民が購入しにくい状況がある。
②分析
現在は省エネ性能が☆3以上の家電を補助金の対象としているが、省エネ性能が☆4以上の家電を補助対象とすることも検討する必要がある。また、その際には補助金額を増額することについても検討をする必要がある。

【事業分析】

対象	熊谷市に住所を有する世帯
目的	国の原油価格・物価高騰対策を受け、市民に対して更なる支援を行い、市民の生命と健康を守るとともに、省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進する。
手段	1世帯1回に限り、1万円を「まち元気」熊谷市商品券にて交付する。
その他	令和6年度からは、補助対象機器にエアコンを追加している。また、補助金の交付方法は地域電子マネー「クマPAY」での交付に変更している。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	0	3,955	5,000	7,000	0	0	0
事業費	0	2,120	5,000	7,000	0	0	0
国庫支出金	0	399	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,721	5,000	7,000	0	0	0
人件費計	0	1,835	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 02165 省エネ家電普及促進事業

【定量評価】

	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
補助金交付件数	件		0.00 0.00	200.00 212.00	500.00 0.00	700.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	5
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	4
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	4
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント (400文字)	令和6年度から省エネエアコン普及促進事業と統合したため、補助対象機器が増えた。 また、制度の周知、昨今の電気代高騰や猛暑などにより補助金申請件数は増加することが予想される。 市民の生活や安全を考慮すると、補助金の予算規模の拡充が必要であると考ええる。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01308 「総合戦略」スマートハウス補助事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する			
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する			
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する			
基本事務事業	001	「総合戦略」スマートハウス補助事業			
詳細事務事業	001	「総合戦略」スマートハウス補助事業			

事業期間

～					
---	--	--	--	--	--

新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		

根拠法令等

第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、第2次熊谷市環境基本計画、スマートハウス補助金交付要綱
別府Mスマートシティの申請が終息した。今後は、国内情勢や国の方向性を見極めつつ、新堀地区スマートエコタウンを見据えた熊谷市「スマートハウス」の概要を決定し、補助事業としての補助対象を変更していく必要がある。

課題・分析

【事業分析】

対象	市内において「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民
目的	エネルギーを地産地消するまちづくりを市内全域において推進し、地球温暖化対策に資することを目的とする。
手段	「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民に対し一律30万円（令和2年度以前は50万円）を補助する。（うち15万円分（令和2年度以前は25万円分）を「まち元氣」熊谷市商品券で交付する。）
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	8,948	10,541	15,352	15,845	0	0	0	
事業費	6,900	8,400	15,352	15,845	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0	0	
一般財源	3,900	5,400	12,352	12,845	0	0	0	
人件費計	2,048	2,141	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.27	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-48-01-00-00	「総合戦略」スマートハウス補助事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01308 「総合戦略」スマートハウス補助事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
補助金交付件数	件	50.00	50.00	36.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		23.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価 理由	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2 事中評価 理由	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3 事中評価 理由	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4 事中評価 理由	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5 事中評価 理由	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01309 電気自動車等充電設備普及事業

【基本情報】					
計画次数	04	第2次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する			
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する			
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する			
基本事務事業	002	電気自動車等充電設備普及事業			
詳細事務事業	001	電気自動車等充電設備普及事業			

事業期間	平成26年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、第2次熊谷市環境基本計画、熊谷市電気自動車等充電設備設置費補助補助金交付件数についてR3年度に1件、その他の年度は0件であるが、国が電気自動車や設備の普及を推進しており、今後は充電設備の需要が高まるものと思われる。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	市内事業者等で国の補助金を受けて充電設備を設置した者
目的	電気自動車（EV車）やプラグインハイブリッド車（PHV車）に必要な充電設備を設置し、EVやPHVの更なる普及を促進させ、地球温暖化対策を推進する。
手段	公共施設に設置した充電設備の維持管理を行うほか、市内事業者等で国の補助金を受けて充電設備を設置した場合、費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	2,960	2,138	1,710	1,710	0	0	0	
事業費	1,367	456	1,710	1,710	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	433	0	0	0	0	0	0	
一般財源	934	456	1,710	1,710	0	0	0	
人件費計	1,593	1,682	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.21	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-46-01-00-00	急速充電設備設置事業	環境部環境政策課
01-04-01-03-49-01-00-00	電気自動車等充電設備普及事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01309 電気自動車等充電設備普及事業

【定量評価】										上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
急速充電設備使用回数（月）	回	100.00 144.60	100.00 107.00	100.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
急速充電設備設置箇所	箇所	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 0.00	2.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
	4		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある			
	3		どちらかといえば、実施したほうがよい			
	2		目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり			
	1		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
	4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである			
	3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである			
	2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである			
	1		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
	4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ			
	3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している			
	2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る			
	1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		2
	4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体			
	3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である			
	2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である			
	1		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		4
	4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して			
	3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している			
	2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している			
	1		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00939 「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する			
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する			
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する			
基本事務事業	004	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業			
詳細事務事業	001	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業			
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金要綱 太陽光発電システムは、設備の普及及び売電価格の下落に伴い設置数に増減が見られたが、設置費用の低価格化等により近年は増加している。また、平成21年11月に始まったFIT制度（固定価格買取制度）の期間満了に伴い、余剰売電から自家消費に切り替える家庭が多く、蓄電システムの設置数が非常に増えている。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	太陽光発電システムを新たに設置した市民・事業者 燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池を設置した市民
目的	CO2の削減により地球温暖化防止に寄与する。
手段	太陽光発電システム、燃料電池コージェネレーションシステム、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池を設置する市民等に対して補助金を交付する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		30,942	28,288	25,240	27,252	0	0	0
事業費		28,363	24,801	25,240	27,252	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		28,363	24,801	25,240	27,252	0	0	0
人件費計		2,579	3,487	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.34	0.43	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-44-01-00-00	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 00939 「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
太陽光発電システム補助金交付件数	件	300.00	300.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		209.00	178.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
家庭用燃料電池システム（エネファーム）補助金交付件数	件	60.00	60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		27.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	申請件数前年比は、太陽光発電システムで85%、蓄電システムも101%であった。太陽光発電システムの申請件数の減少は、新設住宅着工件数が10%減となったことが要因の一つとして考えられる。蓄電システムの申請件数は前年並みであったが、これは昨今の電気代の高騰が要因として考えられる。これらの結果から、事業・予算の方向性としては現状維持とする。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01674 「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する			
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する			
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する			
基本事務事業	008	「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業			
詳細事務事業	001	「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業			
事業期間	平成31年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、第2次熊谷市環境基本計画、熊谷市電気自動車充給電設備設置費補助 国が電気自動車の普及を推進しており、今後も本市の補助金申請も増加していくと思われる。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	電気自動車充給電設備を新たに設置した市民
目的	電気自動車を蓄電池として住宅から充給電できる設備を設置することにより、節電効果や、非常時の電源として活用することができる。
手段	電気自動車充給電設備を設置する市民に対して補助金を交付する
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	1,506	1,594	750	750	0	0	0	0
事業費	596	600	750	750	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	596	600	750	750	0	0	0	0
人件費計	910	994	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.12	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-57-01-00-00	「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3010000 環境部環境政策課
短縮番号 01674 「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
充給電設備補助金交付件数	件	3.00 12.00	12.00 12.00	15.00 0.00	15.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		評価の観点			基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			4
	理由						
	事中評価						
	理由						
	理由						
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			4
	理由						
	事中評価						
	理由						
	理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			4
	理由						
	事中評価						
	理由						
	理由						
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			4
	理由						
	事中評価						
	理由						
	理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			4
	理由						
	理由						
	理由						
	理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			